NIPPON ANTENNA

取扱説明書

CSデータ受信用避雷器

アレスター型 10～2150MHz 電流通過型

MODEL
HPC-75P

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. 保安用アレスターが組込まれていますので、誘導雷などの異常高圧から受信機やパソコンを保護します。
2. 接地されていない受信機やパソコンを大地接地することができるので、大地との間に起こる電撃を大幅に軽減することができます。
3. ステンレスシャーシおよびカバーの使用により、耐食性、耐候性に優れています。
4. シャーシとカバーを圧入取付けしておりますので、漏洩に対して優れた遮蔽性能を有しております。
5. 本製品は、従来の保安器では不可能だった直流伝送が可能な回路を採用していますので、受信機からの同軸重畳の電源でパラボラアンテナを動作させることができます。パラボラアンテナへの電源供給が不必要な場合は、広帯域保安器NHS-G1をご使用ください。

■使用上のご注意

1. F型接栓は、規定のトルク以上で締付けないでください。
2. 金属製家屋外壁に直接取付けないでください。また、取付板を使用する場合、取付ねじは金属製家屋外壁に当らない長さをご使用ください。取付ねじが長く、金属製家屋外壁に接触していると、金属製家屋外壁にアースが落ちてしまう危険性があります。
3. アース線は、確実に固定してください。本器でアースをとることにより、受信機やパソコンでアースをとる代用にもなります。

■規格表

項　目	性　能	
周波数帯域（MHz）	10～30	30～2150
挿入損失(dB以下)	1.5	2.0
電圧定在波比（以下）	2.2	2.0
入力・出力インピーダンス(Ω)	75（F型）	
耐雷性	正負各々5kV／200μsecのサージ電圧に耐える	
使用温度範囲（℃）	－20～＋40	
寸法（mm）	高さ74×幅64.6×奥行70.3	
質量（g）	100	

●電流通過　最大DC15V・0.5A

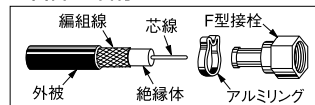
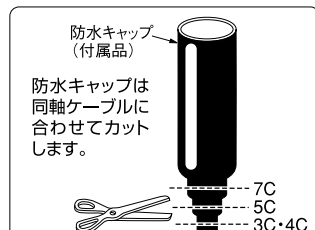
●取付例

取付ねじ（付属品）
アース端子
芯線
中心穴
F型接栓
芯線を中心穴に挿入し、F型接栓を時計まわりに回してしっかり締付けます。
アース線
出力端子へ
防水キャップ（付属品）は奥までしっかり押込んでください。
入力端子へ

●3本の取付ねじで保安器を固定してください。
●アース線は10mmほど被覆をむいて本体下部のアース端子に挿入し、ねじ止めしてください。

■同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称

●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合、アルミ箔は絶縁体と同様に加工してください。

防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。

防水キャップ

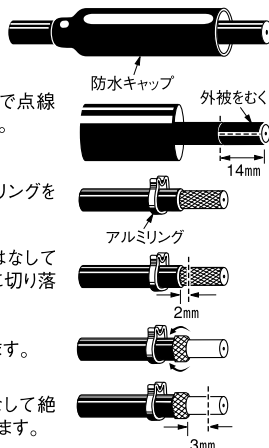
1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）

2. 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

3. 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

4. 編組線をめくりあげます。
5. 編組線から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。

3㎜

●F型接栓締付トルク　2.0N・m（約20kgf・cm）

6. F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

7. 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。

芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

ポイント
●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかをご確認ください。
●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。
（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

⚠**注意**　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D814001920　平成19年9月改訂